

わが国の公衆衛生の 重要課題を考える

参加費
無料

日時：平成 31 年 3 月 29 日（金）13：30～17：00

場所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口）

プログラム

- 13:30～13:45 開会挨拶と日本学術会議の活動の紹介（公衆衛生を中心に）
秋葉澄伯 日本学術会議会員、日本疫学会会員、全公連世話人代表
- 13:45～14:10 大槻 剛巳 日本衛生学会理事長（川崎医科大学教授）
「環境医学研究からの社会応用：アスベストや珪酸の免疫影響研究を例として」
- 14:10～14:35 沢辺京子 日本衛生動物学会 学会長（国立感染症研究所昆虫医科学部部長）
「我が国の公衆衛生に関わる衛生害虫－その歴史と未来－」
- 14:35～15:00 祖父江友孝 日本疫学会理事長（大阪大学大学院教授）
「がん検診における過剰診断について」
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～15:35 山野井尚美 日本公衆衛生看護学会副理事長（岡山県保健福祉部）
「災害時の保健活動」
- 15:35～16:00 武見ゆかり 日本栄養改善学会理事長（女子栄養大学教授）
「健康寿命の延伸と健康な食事・食環境整備」
- 16:00～16:25 衛藤 隆 日本学校保健学会理事長
「わが国の学校保健の今とこれから」
- 16:25～16:50 岡田賢司 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会委員長
（福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野教授）
「公衆衛生上有用と思われる予防接種について」
- 16:50～ 閉会挨拶 田高悦子 日本学術会議第二部連携会員（横浜市立大学大学院医学研究科教授）

申込方法：氏名、所属、連絡先（E-mail）をご記入の上、件名を「3月29日学術集会申込」として、メールにて全国公衆衛生関連学協会連絡協議会 E-mail:japhsa14@gmail.com お申込みください。締切3月8日（金）

主催：日本学術会議健康・生活科学委員会パブリックヘルス科学分科会

共催：全国公衆衛生関連学協会連絡協議会（全公連）